



vol. 45

2017年4月発行
編集・発行

君津中央病院

☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



写真提供：津田一男様(葛津市在住)

理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さんに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-3号
審査体制区分4(ver. 1.0)
2014.8.23～2019.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

表紙《病院の風景》	1	医療技術局 薬剤科の紹介	5
子どもの成長について	2	地域医療センター 訪問看護室の紹介	6
放射線治療について	3	附属看護学校 [平成28年度卒業式・テレビ取材について]	7
看護局 手術室の紹介	4	大佐和分院よりお知らせ	8

子どもの成長について

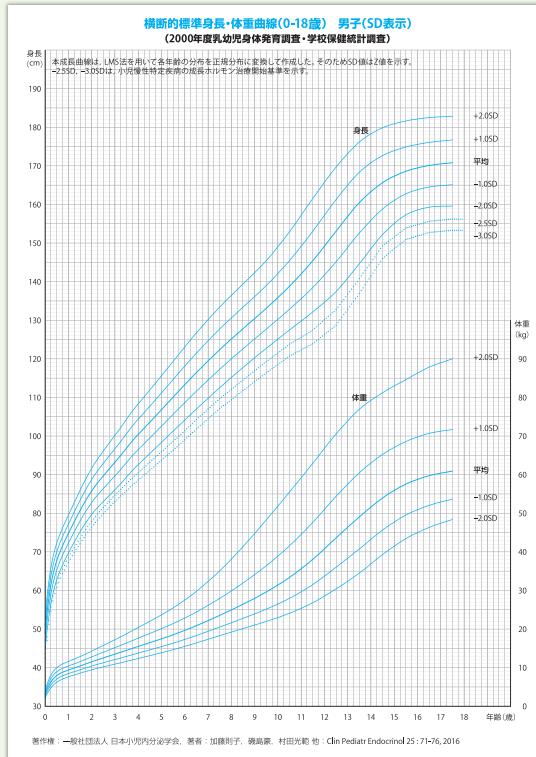
4月になると保育所、幼稚園、学校でお子さんの身長、体重を測定する機会があります。その場限りの測定では周りの値ばかり気になり残念ながら個々のお子さんの成長を診るうえで十分に活用されません。下のグラフのように標準的成長曲線のグラフに身長、体重の点を打って成長曲線を描くとこれまでのお子さんの成長の状況がわかります。身長の程度(高身長、低身長)体重の程度(肥満、やせ)思春期が早いか遅いかなどお子さんの成長曲線を標準成長曲線と比較することによって、いろいろな情報を得ることができます。

標準成長曲線の横軸は年齢で、一目盛りが3ヶ月です。縦軸は左が身長で一目盛りが1cm、右が体重で一目盛りが1kgになっています。なるべく正確に月単位の測定年齢と身長体重にあわせて点を書いて、背景の標準成長曲線と比べてみてください。低身長の基準は

①標準成長曲線の-2SD以下 ②1年間の身長



横断的標準身長・体重曲線(男子0-18歳、女子0-18歳)

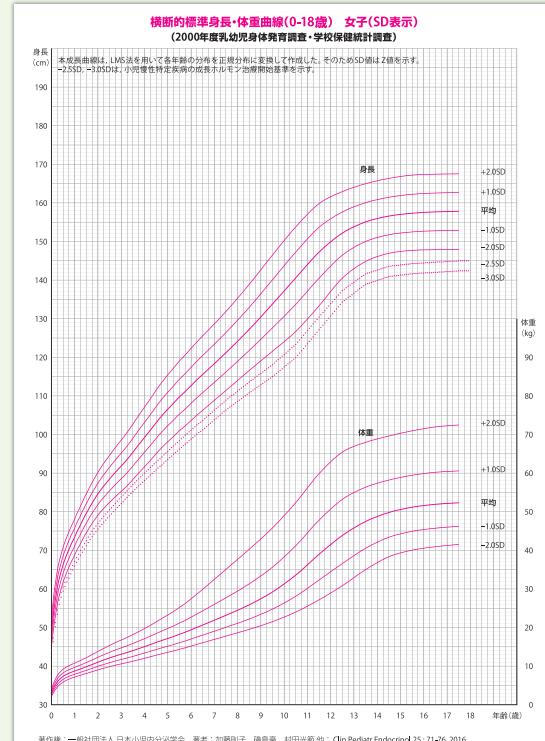


の成長速度が2年続けて-1.5SD以下(小学校低学年の場合だいたい4cm以下)です。

小柄であっても乳児期、幼児期からずっと-2SD線よりも少し上を順調に成長して、1年間の身長の成長速度が保たれているようであれば正常の成長です。また、思春期が遅い、いわゆる「おくて」の人では10代前半のときに周囲に比べ体つきが細い、声が高い、小柄が目立つようになりますが、思春期の発来とともに後から背が急に伸びることがあります。

それとは逆にもともと大柄だったのに急に背の伸びが止まった、小柄だったのに急に身長の伸びが良くなった等でお子様の成長曲線が背景の標準成長曲線に沿わず横切っているような場合は正常範囲の身長であっても思春期早発症等の病気が隠れていることがあります。こういった成長障害は定期健診で発見することは困難ですので小児科外来への相談をお勧めします。

(小児科 木下 香)



放射線治療について

放射線治療：使い方も目的もいろいろです

皆さんは「放射線治療」というとどんなことを思い浮かべますか？

放射線は細胞のDNAや細胞そのものを破壊することによって、細胞の増殖を抑えます。結果的に腫瘍を消したり、縮小したり、症状を和らげたりします。



細胞の増殖を抑える放射線なので、稀に良性の腫瘍にも使います。皮膚の細胞などが異常増殖するケロイドや、甲状腺機能亢進症で眼窩の脂肪組織への細胞浸潤が起こって眼球が突出する甲状腺眼症への放射線治療が知られています。小児の巨大血管腫に対しても有効な治療方法の一つです。君津中央病院では、年間1～2名の良性疾患へ放射線治療を行っています。良性疾患の場合は、原則として他の治療法が無効か好ましくない場合、できる限り少ない放射線の量での治療を行います。甲状腺眼症では、ステロイドなどによる薬物療法の効果が不十分な時、侵襲性の高い手術療法の前に行います。用いる放射線の量は通常のがん治療で用いる量の3分の1以下です。

こうした稀な良性疾患以外のほとんどの方が、悪性腫瘍への治療を目的として放射線治療を受けています。その場合も、もとの病気の種類や状況によって放射線治療のやり方は全く異なります。

リンパ腫のような、放射線が非常に有効な腫瘍が対象となる場合は少ない放射線の量、たとえば15～17回程度での治療が可能ですが、化学療法が効かない場合や再発した場合には、より多くの放射線をあてることがあります。耳鼻科領域のがんでは、比較的放射線が効く腫瘍が多く、機能を残すことが望まれるため、放射線治療は重要な選択肢になります。早期の喉頭がんであれば30回程度の治療ですが、進行がんになると、抗がん剤も用いながら35回の治療を行います。放射線を当てる範囲も進行がんでは大きくなります。肺や肝臓の非常に小さい腫瘍の場合、小さい範囲に放射線を集中してあてる定位照射という特殊な方法もあります。腫瘍の大きさが3cm以下で、体の十分な固定が可能で、1回30分程度の治療に耐えられる方に対して検討します。

どの治療が適しているかは、原疾患や病気の大きさや広がっている範囲、治療を受ける方の体力などによって判断します。体外から放射線を当てる治療だけでなく、放射線を出す金属を用いた密封小線源治療や、放射線を出す物質を体内に入れる内用療法もあります。状況に合わせた治療を適切に選ぶことが非常に大切です。当院でできない治療については必要に応じて他の施設にご紹介することも放射線治療部門の大切な役割です。

がんを治せなくとも、腫瘍によるつらい症状がある時や今後症状の出現が予測されるときにも放射線治療が役に立ちます。多くの場合、症状の改善や予防が主な目的となるため、少ない回数・量の放射線での治療を行います。

放射線治療の副作用は放射線を当てる範囲と放射線の量によって変化します。そのため、放射線治療を受けるにあたっては、病気の種類、状況、放射線治療の目的、実際の治療内容などについて十分に理解して体調管理をすることが大切ですし、放射線治療部門のスタッフも状況に応じたケアの提供を心がけています。

(放射線治療科 清水 わか子)

看護局 手術室の紹介

手術室には、看護師32名、看護助手3名、クラーク1名が勤務し、看護師2~3名でひとつの手術を担当しています。



平成28年4月からは泌尿器科手術も再開し、13診療科の外科系手術を行っています。予定された手術以外でも、土日祝日を問わず24時間の緊急手術に対応しています。手術室は9室あり、年間手術件数は約4,600件前後で

推移しています。平成28年度の手術件数は4,900件超えました。

手術の週間予定は各科の手術枠を基本として、外科系医師と麻酔科・手術室で時間調整し、平日は8時40分から順次入室していただいている。

現在は、手術する部屋に患者さまを直接ご案内し、そこで患者さまのお名前や手術する部位の確認をしています。

また、WHOの推奨する「手術安全チェックリスト」を使用し、安全な手術が提供できるようにしています。手術室で働く私たちは、帽子やマスクをしているために表情が伝わりにくいのですが、手術前の患者さまからお話を伺い、安心して手術を受けていただけるよう「優しい心と穏やかな笑顔」を心がけています。

(手術室 堀切 悅子)

Information

がんサロンのお知らせ

がんサロンは、同じような悩みを持つがん患者さんやご家族が集まって、それぞれの体験や思いを語ることができる場所、病気や療養について情報交換ができる場所です。
新しい出会いや抱えている悩みを解決する糸口が見つかるかもしれません。
ぜひ一度お越しください。

日 時	平成29年4月21日(金)、5月19日(金)、6月16日(金) 毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで
場 所	2階人間ドック待合室 ※予約はいりません。費用無料です。
お問い合わせ先	☎0438-36-1071 担当:ソーシャルワーカー 保坂 まで

診療科名変更のお知らせ

平成29年4月1日から診療科名を次のとおり変更いたしました。

変更前	変更後
内分泌代謝科	糖尿病・内分泌・代謝内科

※診療内容に変更はありません

なお、院内の電光掲示板や再来受付機(受付票)などの表記は、次のとおり変更となっております。

変更前	変更後
内分泌科	糖尿病内科



医療技術局 薬剤科の紹介

薬剤科は、薬剤師27名、医療助手5名、SPD 2名(SPD : Supply Processing & Distribution : 物流管理)が働いています。

薬剤科内には、調剤室、薬品管理室、製剤室、薬剤管理指導室、医薬品情報室の5部署があります。



調剤室

調剤というのは、医師の書いた処方せんをもとに、患者さまの病状から投与量が正しいか確認して、薬を取り揃えることです。電子カルテにより患者さまの状態、今までの服薬履歴、検査値、併用薬等を見て、疑問な点を確認してから調剤します。

その際、お薬、お薬の袋、説明書など取り違えないように注意を払います。

薬品管理室

院内で使用する全ての薬品(内服薬から注射まで)の購入、保管、供給を行っています。調剤室で使用する薬品の他、外来で使用する注射薬の準備、また入院患者さまへ使用する注射薬を一人分ずつ注射薬自動払出システムで効率よくセットをして前日に各病棟へ搬送しています。

製剤室

市販されていない製剤を院内で調製することができます。院内の委員会で検討、承認を受けて院内製剤として調製しています。

また、高カロリー輸液の調製は、感染リスクを低減するため無菌室で調製しています。

がん治療に用いる抗がん剤は、曝露対策に安全キャビネットを使用して、入院・外来のすべてを対象に無菌調製を行っています。入院患者さまだけでなく外来化学療法(通院で行う抗がん剤治療)にも、積極的に薬剤師が関わっています。

薬剤管理指導室

各病棟に出向いて必要に応じて、直接患者さまとお話をし、お薬について説明をいたします。また、普段使われているお薬と入院中に使われるお薬の飲み合わせなどを確認するために、入院された時に、家で飲まれているお薬を確認して、医師に報告しています。その際、お薬と一緒にお薬の説明書、お薬手帳をお持ち頂けると大変助かります。退院時にも、普段のお薬の管理が難しいようであれば、お薬の一包化などのご相談にも伺います。

医薬品情報室

医薬品は日々新しい情報が入ってくるので、情報を把握し、必要な情報を関係部署に配布します。たくさんの情報の整理、管理を行っています。

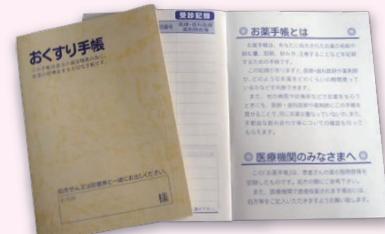
新しく薬品の採用申請があると薬事委員会で検討するための資料の準備をします。採用薬品については、地域の薬剤師会と連絡会を開き、スムーズに運用できるように連携をしています。

また、医師、看護師からの配合変化等の質問にも対応し、副作用情報の収集もしています。

■ 薬剤科からのお願い ■

お薬手帳は、どこの医療機関で何の薬が処方されているか記録できる手帳です。その情報から、同じ成分のお薬が処方されていないか、飲み合わせのよくないお薬はないか等、確認することができます。

医療機関にかかる時や、お薬をもらう時は、「お薬手帳」の提示をお願いします。



(薬剤科 田中 悅子)

地域医療センター 訪問看護室の紹介

医師と訪問看護室のスタッフ



●当院の訪問看護室をご存じでしょうか？

平成2年9月「外来看護科・保健相談室」を開設、保健師1名からはじめました。君津医療圏内では当院を退院後に受け入れ先となる医療機関や施設が少ないこともあります、また退院後の療養先に在宅を希望する患者さまが増加していました。病院としても地域住民のご要望に応え基幹病院としての役割を果たしたいという思いに応えて開設されました。

現在は地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、当時はまだ全国的にも少ないことで先見の明があったと思います。現在は看護師4名、事務員1名と訪問診療に関わる医師数名で活動をしています。

●訪問看護とは

地域で療養される方や介護をされる家族さまへ、居宅にて看護師が療養上のお世話や必要な診療の補助をおこないます。病院内の医療者（医師・看護師・医療福祉相談員など）・ケアマネジャーなど居宅支援事業所と連携しています。病院から継続した心のこもった看護サービスを受けることで、安心して在宅療養が送れます。

訪問看護のパンフレットです。

君津中央病院

訪問看護のご案内



訪問看護室

電話 0438-36-1071

具体的な内容

次のようなサービスを提供します

- ☆健康状態(病状)の確認
- ☆血圧・脈拍・体温を測定
- ☆栄養チューブや尿のチューブを交換
- ☆床ずれや創の手当
- ☆入浴(清拭)・食事・排泄などの介助
- ☆介護者が健康であるためのお手伝い
- ☆その他療養や介護に関するさまざまなご相談をおうけします。

●ご利用いただける方は

原則として4市内(木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市)にお住まいの入院患者さまと外来患者さまです。病気や障害があり、在宅での療養を希望される方となります。ご状態にあわせて医療保険又は介護保険でのご利用ができます。

●活動状況

訪問看護室では月曜日から金曜日の日中に利用者宅を訪問しています。0歳から高齢者までと幅広い年代の方を訪問しています。

訪問件数は多い時には1人で4件から5件になります、遅くなる時もありますが訪問看護を利用される方々と信頼関係を築ける事が励みとなります。病院のシンボルマークが目印の訪問車両は、今日も颯爽と訪問看護を利用される方々の住まわれる君津医療圏内を訪問しています。

(訪問看護室 白石 真由美)



君津中央病院附属看護学校

平成28年度卒業式を挙行しました



平成29年3月8日に平成28年度卒業式を行いました。抜けるような青空と春の訪れを感じさせる柔らかな陽光の下で、3年生62名(男子8名、女子54名)が晴れの日を迎えました。今年は、平成26年春に定員が1学年2クラスとなってから初の卒業生となります。

式典には、保護者や来賓の皆さん、在校生、教職員を合わせて350名近くの方が参加し、厳粛な雰囲気の中で卒業証書ならびに専門士称号授与書が授与され、心温まるご祝辞をいただきました。

平成28年度卒業生の卒業後の進路は、助産学校への進学者が1名、君津中央病院への就職内定者が56名、構成4市内の病院が2名、県外の病院が3名となっています。実習で受け持たせていただいた多くの患者さまや、お世話になった方々への感謝の気持ちを胸に、それぞれの道へ羽ばたいていきます。

NHKのテレビ番組で本校が紹介されました



平成29年2月28日にNHK総合の情報番組「ひるまえほっと」の笑顔みつけ隊のコーナーで、“地域医療を支えたい～君津中央病院附属看護学校”として、本校で学ぶフレッシュな1年生達が紹介されました。

(事務長 佐伯 哲朗)

Information

院内ボランティア「ひつじぐも」の募集について

君津中央病院企業団では平成15年から院内ボランティア活動に取り組んでおり、当企業団のスタッフの他、地域住民の皆さんにもご参加いただいております。活動内容は、受診援助・移動図書・園芸・理髪・読み聞かせ・生花・傾聴・コンサート・落語など、ボランティアの皆さんの特技を提供していただいております。「ボランティア活動に参加したい」、「イベントを行いたい」という方は是非お問い合わせください。詳細は、病院ウェブサイトより

ホーム ▶ ボランティア募集
をご覧ください。

君津中央病院広報誌「クローバー」の表紙写真募集について

君津中央病院広報誌クローバーでは、表紙写真募集について病院を利用する皆様の視点から撮影した、君津中央病院の写真を募集しています。応募の方法は、病院ウェブサイトより

ホーム ▶ 広報誌「クローバー」 ▶ クローバー表紙写真の募集
をご覧ください。



大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

大佐和分院病棟紹介



大佐和分院病棟は医師4名、看護師20名、看護助手6名、クラーク1名で構成されています。

ベッド数36床を有しております内科(消化器内科、循環器内科、神経内科)整形外科、眼科、泌尿器科、皮膚科の混合病棟です。眼科は白内障などの手術を行っています。入退院も多く、スタッフは皆忙しい日々を過ごしていますが、元気に笑顔で働いています。

入院患者様は急性期、慢性期、終末期と幅広い疾患の方がいます。特に高齢者の方が多く、食欲不振、飲み込みが上手にできない方や床ずれを作られた状態で入院される方も少なくありません。これらの患者様に質の高い医療や看護を提供するため、当院では多職種合同の医療チームが介入しています。

その一つとして褥瘡(床ずれ)対策・栄養サポート委員会があります。床ずれを患っている患者様に対して医師と看護師で週1回回診を行い、治療方針を検討しています。またそれだけではなく、管理栄養士が話し合いに加わり、患者様の身体の状態や食事がきちんと食べられているのかどうか評価しています。床ずれのある患者様や栄養状態の悪い患者様には必要な栄養素量を確保できるように食事内容や形態が適切かどうか検討し、栄養状態のサポートをしています。

摂食嚥下訓練チームは言語聴覚士を中心に医師、看護師、管理栄養士が回診をしています。何らかの原因があり、食事が上手に食べられなくなってしまった患者様に飲み込みのテストや嚥下内視鏡検査を行っています。飲み込みが上手にできない原因をさがし、訓練や指導を行い、上手に飲み込みができるよう援助を行っています。中には鼻からチューブを介して栄養剤を入れていた患者様で、口から食事を食べられるようになった方もいます。

リハビリテーション会議は整形外科疾患や神経内科疾患の方などのある患者様を対象とし、日常生活動作(食事、排泄、整容、移動、入浴等の基本的な行動)の改善を図ることにより、生活の質の向上を目指します。そのために理学療法士と看護師で話し合いをし、入院生活での関わり方が適切かどうか検討しています。

治療を終えた患者様や御家族様が安心して退院できるように当院では退院調整委員会が支援をしています。療養を中心とした病院に転院するのか、介護を受けながら生活をするための施設に移るのか、自宅に帰るのかなど患者様自身(あるいは御家族様)の選択を支援しています。当院では自宅に帰ることに不安を抱いている方に対して、訪問看護や訪問リハビリテーションを行っていますので、御利用して頂きたいと思います。

今後も当院は地域に密着した地域医療の病院であることを自覚し、スタッフ一同自己研鑽に努め、良質で安全な医療を提供できるように努力していくたいと思います。

(病棟看護係長 角 直美)

外来診療日		平成29年4月17日改正					
診療科	受付時間等	診察室	月	火	水	木	金
			医師	医師	医師	医師	医師
内科・小児科	午前 受付時間 8:00~11:30 診療時間 9:00~	1 寺林				寺林	寺林
		2 田中		田中	三浦	田中	田中
		3 北湯口		北湯口	北湯口	北湯口	北湯口
		5 安達			安達	【毎月最終木曜日】桐谷	
							安達
神経内科(予約のみ)	午前 受付時間 予約時間に準する 診療時間	1	【予約のみ】藤沼				
外 科	午前 受付時間 8:00~11:30 診療時間 9:00~	2			三浦		
整形 外 科	午前 受付時間 8:00~11:30 診療時間 9:00~	5	【予約患者有】保住				
皮 膚 科	午後 受付時間 12:00~15:00 診療時間 14:00~	5	【予約患者有】稻福・竹下・川原 【医師交代制】				
泌 尿 器 科	午前 受付時間 8:00~11:30 診療時間 9:00~	泌尿器科外来	【予約のみ】荒木			【予約のみ】片海	
	午後 受付時間 12:00~15:00 診療時間 13:30~					【予約のみ】片海	
眼 科	午前 受付時間 8:00~11:30 診療時間 9:00~	眼科外来	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
	午後 受付時間 12:00~15:00 診療時間 13:30~		佐々木		佐々木	佐々木	
循環器内科(超音波検査)(予約のみ)	午後 受付時間 予約時間に準する 診療時間	エコー室	【予約のみ】山本・関根・芳生 外池・鹿田 【医師交代制】				
人間ドック(予約のみ)	午前 受付時間 予約時間に準する 診療時間				【予約のみ】田中		【予約のみ】山倉